

「桜洲小学校の桜島小池島廻り踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立桜洲小学校

2 学年・人数

5・6年生（計20人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年5月 総合的な学習の時間（本校体育館・運動場）

(2) 発表の日時・場所

令和4年5月29日（日）桜洲小学校運動会（本校運動場）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

桜島小池島廻り踊り（さくらじまこいけしままわりおどり）

(2) 由来

今から約100年以上前、島津光久公の時代、桜島では、地域ごとに小さい舟を使って桜島の周りを一周する「島廻り競争」が行われていた。

大正3年の爆発後、島廻り競争は、区間ごとに行われ、その競争を応援するために、小池浜で踊っていたのが「小池島廻り踊り」である。平成17年には、鹿児島市の無形民俗文化財に指定された。

(3) 構成等

踊り連は、円形になり、保存会のお囃子に合わせて小舟の艫を漕ぐ様子や雄大な桜島や錦江湾を形取った様子を表現して踊る。

現在は、発表会場の広さや参加人数に応じて、隊形を変えながら踊っている。

5 保存会や地域との連携の具体

毎年5月の桜洲小学校運動会において、この「小池島廻り踊り」を伝承・披露するため、小池島廻り踊り保存会の方々に、児童への細かい指導をお願いしている。

また、今年度は実施できなかったが、例年桜島地域大運動会や桜洲校区ふるさと文化祭でも、保存会の方々と5・6年生とが一緒に踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方々が伝承している踊りを、子供たちが踊りやすいように、また、歌に合うように一部簡素化している。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【練習での様子】



【桜洲小運動会での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【5・6年児童】

- ・ 初めて踊る5年生に教えるのが難しかった。
- ・ 曲に合わせて流れるように踊ることができた。
- ・ 大勢の観客の前で踊るのは、恥ずかしかったけど、最後まで間違えずに踊ることができてよかった。

【教職員】

- ・ 伝統ある「桜島小池島廻り踊り」をきちんと引継ぎ、立派な踊りを披露してくれた。ここ桜島で育つ子供たちが、この踊りを大切に守り、下の世代にもしっかりと受け継いでくれることを期待している。郷土の伝統芸能を学び、多くの方々の前で披露できることは、とても価値がある。

【保存会】

- ・ 郷土に伝わる桜島小池島廻り踊りを小学生と保存会と一緒に練習し、地域住民の前で踊ることができ、ありがたく感じている。卒業しても、この伝統芸能を受け継ぎ、地域に誇りをもって生きる子供たちに成長してくれることを願っている。

【地域の方から】

- ・ 子供たちが、しっかりと伝統芸能を受け継いでいる姿を見て、頼もしく感じた。
- ・ 地域・桜島のことを更に好きになり、大切にしていこうとする郷土愛につながっていると思う。